

2016. 3. 14 理事会承認

2016年度(平成28年度)

# 事業計画書



公益財団法人キープ協会

# 目 次

公益財団法人キープ協会の公益事業と収益事業	2
2016年度 事業計画の方針・重点事業	3

---

公益Ⅰ．環境教育事業	4
1.環境教育＝やまねミュージアム・フォレストアーツスクール	
2.山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター(指定管理事業)	
3.環境省・日光国立公園	
那須平成の森・那須高原ビジターセンター運営管理業務	
4.山梨県地球温暖化防止活動推進センター	
5.環境研究所＝環境教育研究	
6.地域との環境教育事業	
公益Ⅱ．酪農事業	7
・高冷地実験農場	
公益Ⅲ．研修交流事業	8
・清泉寮・キープ自然学校・ポール・ラッシュ記念館	
公益Ⅳ．	10
① 国際地域事業	
② 地域連携事業	
公益Ⅴ．保育事業	12
・清里聖ヨハネ保育園	

---

収益Ⅰ．製販事業	13
----------	----

収益Ⅱ．ホテル事業	15
-----------	----

---

本部(管理部門)	16
----------	----

## ■公益財団法人キープ協会の公益事業（内閣府認定）

（清里エリア・公1）環境保全および環境教育の研究と、教育・普及に関する事業

- (1) 環境教育セミナー
- (2) 自然体験活動
- (3) ヤマネ生態調査
- (4) やまねミュージアムおよび八ヶ岳自然ふれあいセンター（施設展示）
- (5) 山梨県地球温暖化防止活動センター

（那須エリア・公1）環境保全および環境教育の研究と、教育・普及に関する事業

- (1) 環境教育セミナー
- (2) 自然体験活動

（清里エリア・公2）高冷地での農業生産および地域農産物の高付加価値化に関する事業

- (1) 高冷地農業の研究開発
- (2) 酪農後継者の育成

（清里エリア・公3）青少年および家族とそのコミュニティを対象に、心身の健全な発展や社会奉仕に資するレクリエーション・野外キャンプなどの体験活動・講習・研修活動・合宿活動に関する事業

- (1) 自然体験。酪農体験活動
- (2) 青少年育成活動
- (3) ポール・ラッシュ記念館（施設展示）

（清里エリア・公4）国際親善と開発途上にある海外の地域社会を対象とする支援・交流に関する事業

- (1) 国際親善
- (2) 開発途上国への開発協力
- (3) 地域活性化の研究・相談・助言

（清里エリア・公5）幼児の育成と子育てに関する事業

- (1) 乳幼児育成
- (2) 自然体験活動

## ■収益事業

（清里エリア・収1）自家製食品および地域特産品等の普及・販売等に関する事業

- (1) 売店・レストラン

（清里エリア・収2）宿泊設備を使ったホテル営業

- (2) ホテル営業

## 2016年度 事業計画の方針・重点事業

KEEP for the Future（キープ中長期計画）に基づき、2016年度事業計画を検討・実施します。

### ★KEEP for the Future：今年度アクションプラン

- ・教育機能の強化：「子どもを大切にするキープ協会」をコンセプトに、プログラム実施や施設運営を行います。
- ・一番美しい農場プロジェクト：景観整備計画に基づき、景観保全を進めます。
- ・環境保全型運営：「歩いて楽しむキープ協会」をコンセプトに、モデルコース作りを行います。
- ・職員教育：職員教育カリキュラム（米国研修の可能性含む）の策定と職員教育の実施を継続します。
- ・施設計画：清泉寮本館等の改修工事を行います。

### 【重点項目】

#### 1. 財政健全化（継続2年目）

- ・清泉寮本館等改修工事に伴う売上減少などから、最終損益△4,700万円を修正目標とします。（当初目標は△2,000万円）
- ・改修工事終了後の2017年度は、収支ゼロを達成します。

#### 2. キープ協会内ファンドレイズ組織の立ち上げと活動スタート

- ・コンサルタント（専門家）の助言・指導のもと、将来的な財政基盤の確立を目指して、ファンドレイズ組織を立ち上げます。
- ・目的と目標額を明確にし、ファンドレイズ活動をスタートさせます。

#### 3. 清泉寮本館等改修工事

- ・耐震診断の結果を受け、11月から3月にかけて改修工事を実施します。

#### 4. 清泉寮・新ジャージーハット建築計画の推進

- ・立寄り客の主要拠点として、製造・加工・販売が一体化した新ジャージーハット建築計画を推進します。

## 公益 I . 環境教育事業

### 1. 環境教育

子どもからシニア世代までを対象とした「教育」とヤマネの総合的な「研究」を両輪として、市民・学校・企業・行政など多様な主体との協働による環境教育事業および環境保全事業を、清里および那須で展開します。上記事業を通して、持続可能な社会実現に寄与します。

#### (1) キープ・フォレスターズ・スクール

##### ① キープ・フォレスターズ・スクールの役割

総合的な環境教育の推進、環境教育プログラムの提供および研究・開発、環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

##### ② 2016 年度の重点目標

A. 受託事業の拡大 B. 主催事業の強化

##### ③ 主催事業

「実験」「協働」をキーワードにした魅力的なプログラムの開発・実施

##### ④ 受託事業

自然体験型環境教育プログラム、指導者養成事業、CSR 事業、講演、執筆等

##### ⑤ 指導教育

職員教育、実習生トレーニング、研修生・インターンの受入れ

#### (2) キープやまねミュージアム

##### ① キープやまねミュージアムの役割

ヤマネの総合的な研究のさらなる推進、ヤマネ保護と森林生物多様性保全の提案、研究成果を活かした環境教育・環境保全策の普及

##### ② 2016 年度の重点目標

ヤマネ研究成果の総括（論文等）と森林環境保全への活用及び効果的な展示

##### ③ 2016 年度の事業計画

ヤマネの総合的な研究の推進、ヤマネの受託調査、ヤマネ保護と環境保全研究の提案、研究成果を活かした環境教育の普及、「やまねミュージアム」の管理運営、アニマルパスウェイの国内外への普及と開発、老朽化する建物の維持・管理・補修、新やまねミュージアム建築に向けた活動の実施

### 2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」指定管理業務

第 3 期 3 年目の指定管理業務を担当します。山梨県及び八ヶ岳地域の環境教育センターとしての役割を意識し、施設管理やプログラムの企画運営を行います。

(1) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良い環境の保全と継承に貢献します。

(2) 2016年度のテーマ＝協働

(3) 事業内容

プログラムの開発と実践、施設内外での展示、年度テーマに即した事業の実施、自然資料収集のための調査、教材開発、地域の拠点施設としての活動、周辺の文化施設、地域にあるネットワークとの連携、自然ふれあい施設としてのハードの整備・施設維持管理、自主事業（環境教育関連書籍やグッズの販売、スノーシューの貸し出し等）

**3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」および「那須高原ビジターセンター」運営管理業務第2期（仮称）の最終年（3年目）の管理運営業務を担当します。**

(1) 那須平成の森（フィールドセンター）

①2016年度の重点目標

第1期と合わせ6年間の総まとめとしての成果を上げます。

②事業内容（2016年度提案事業）

フィールドセンター運営、「インタープリターと歩く那須平成の森ガイドウォーク」、「自然体験・学習プログラム」、「無料ミニプログラム」、受託事業（学校団体等のプログラム）、年間を通したシリーズ事業、栃木県内の大学生を対象とした人材育成事業の実施（ビジターセンターを併用）、屋内外の展示制作、公園の環境管理、「那須平成の森基金」の事務局運営

(2) 那須高原ビジターセンター

①2016年度の重点目標

第1期と合わせ6年間の総まとめとしての成果を上げます。

②事業内容

ビジターセンター運営、冬季に那須湯本をテーマにした催しを行い地域のハブ施設としての役割を示します。

**4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託**

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、次の事業を可能な範囲で行います。

(1) 地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性についての啓発及び広報活動

(2) 地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う民間団体の活動支援

(3) 日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制のための措置についての照会・相談及び助言

- (4) 日常生活に関する温室効果ガス排出実態についての調査・分析
- (5) 定期的又は時宜に応じた上記調査分析結果の提供

## 5. 環境研究所

環境教育事業部の機能の1つとして、事業部横断的に研究活動を行います。

- (1) 環境保全研究（やまねミュージアムが担います）
- (2) 環境教育研究

森林保全作業を通じた環境教育の研究および実践環境教育実践の整理・研究・発表、指導教育に関する研究

## 6. 地域における環境教育事業

地域との協働を通じた環境教育事業に取り組みます。

- (1) 事業内容

森の学童など地域住民への環境教育、地域の教育機関・福祉機関への協力、地域内各種ネットワークへの参画

## 公益Ⅱ．酪農事業

### 1. 生産農場として

- (1) 2016 年度の搾乳頭数は平均 45 頭とし、年間牛乳生産量は、185,000 k g を目標として、引き続き有機 J A S 牛乳（安全、安心、衛生）の生産に努めます。  
飼育総頭数 110～120 頭（内訳、成牛 65、育成牛 25、仔牛 15、雄仔牛 15）
- (2) 繁殖牛や肥育した雄仔牛の売却を行います。
- (3) 粗飼料の完全自給を目指し、圃場の生産性向上（現在、採草地 45ha、放牧地 25ha、畑作圃場 1.5ha）に努めます。
- (4) 畑作圃場を使用し、土壌改良や獣害対策に努め、食用作物の生産に努めます。

### 2. 教育農場として

- (1) 後継者育成及び学習の場の提供として、短期及び長期実習生、日本大学、麻布大学等の生徒の受け入れを行います。
- (2) 2016 年度より、酪農体験・食用作物体験・飼料作物体験を 3 つの柱とする農業体験プログラムを実施し、ひろく食糧生産について体験する場を提供します。

### 3. 実験農場として

- (1) 牧草地に堆肥等の散布を行い、循環型酪農に努めます。
- (2) 引き続き、生ゴミを堆肥化し、資源を有効利用します。
- (3) 山梨県酪農試験場と協力し、肥育牛の肉の販売促進・商品開発や、酪農体験プログラムを合同で実施します。
- (4) 山梨県耕作放棄地対策放牧推進助成事業（山羊・雄仔牛の貸出し）を実施します。
- (5) 山梨県酪農試験場と共に、試験的に雄仔牛の林間放牧を行います。（3 年目）
- (6) 継続事業として粗飼料対策事業助成金を取得します。

## 公益Ⅲ．研修交流事業

### 1. 清泉寮

公益財団法人キープ協会の中核施設としての使命と役割を果たすとともに、事業の継続・発展のためにも財政健全化に寄与する運営を行います。

- (1) 研修利用に際して求められる設備・食事・プログラム・スタッフなど、受け入れ体制を整え、積極的なマーケティング活動を行うことにより、学校、教会、企業を始め、より多くの団体の獲得および継続利用を図ります。
- (2) 地産地消をベースにした安全な手作り食の提供、豊かな自然環境を生かした体験型プログラムの提供といった観点を引き続き重視し、顧客や地域生産者の声に耳を傾けながらさらなる改善を目指していきます。
- (3) 行政機関の協力や指導を仰ぎながら、施設部と連携して、今後の事業継続に向けた施設の修繕計画を進めます。特に、本年度 11 月から 3 月の間には、本館部分の休業を含めた大規模な改修を行い、次年度以降の安全かつ高品質な運営に繋がります。

### 2. 自然学校

体験を重視しグループ利用に特化した清泉寮の兄弟施設として、財政健全化を図りつつ、実験的な取り組みを継続していきます。

- (1) 通年営業の自然学校、夏季（7 月～9 月）営業のキャンプ場と、2 つの施設を管轄し、多くの団体の受け入れを積極的に行うとともに、スタッフ・食事などに関して、効率的な運営体制を図ります。
- (2) バリアフリーの構造、地元農家と連携した安全で健康的な食の提供、低廉な価格設定といった特長を生かして、幼保・学校・福祉・研修といった団体の受け入れに力を入れ、稼働の向上を図ります。
- (3) 「森のようちえん」「やまもりキャンプ」といった看板企画をはじめ、食や自然をテーマにした主催キャンプの実施を積極的に行うとともに、今後を広く展望した上での新しいジャンルのプログラム開発を進めます。

### 3. ポール・ラッシュ記念館

公益財団法人キープ協会の根幹であるポール・ラッシュ博士の業績を広く紹介する仕組みづくりを進めると共に、財団の広報・教育機能の一端も担っていきます。

- (1) ポール・ラッシュ博士の業績や歴史を紹介する通常の開館業務のほか、博士に関する資料のデジタルアーカイブ化作業の継続を始め、収蔵資料や美術品の保存・管理業務を進めます。
- (2) 時期ごとに変化のある企画展を年数回行うとともに、本年度に予定されているアメ

リカンフットボールの殿堂入りを記念するイベントや、2017年の博士生誕120周年に予定している企画展にも積極的に関わっていきます。

- (3) 博物館施設として、県・市や対外的な機関との連携や、メディアやSNSを駆使した広報活動を積極的に展開していきます。

## 公益Ⅳ－① 国際交流事業

従来実施してきた事業を「異なるものをつなぐ」「青年への希望」を軸に再構成し、またKEEP for the Future 2016 = KFTF 計画に沿って、アクションプランを立てて取り組んでいきます。

### 1. 国際交流事業

- (1) 北杜市・米国ケンタッキー州マディソン郡姉妹地域交流事業の実施協力
  - ①北杜市代表団訪米事業（5月）
  - ②中学生ホームステイ交流事業（7～8月）
  - ③マディソン郡代表団受入事業（10月）
  - ④文化交流（北杜市交流員派遣5月）（マディソン郡交流員受入10月）
  - ⑤子ども絵画交流（通年）
- (2) 北杜市・カナダ クロウズネストパス中学生海外交流事業の実施協力（8月）
- (3) 海外インターン生の受け入れ（6～10月）
- (4) キープ米国後援会（ACK）との協働事業：  
青年平和交流事業「KIZUNA PROJECT」実施協力（8月）
- (5) フィリピン農山村援助交流事業の今後の展開について検討を継続します。

## 公益Ⅳ－② 地域連携事業

### 1. ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2016 の開催

- (1) 収穫に感謝する季節に、ポール・ラッシュ精神の顕彰と草の根国際交流の実践を広くアピールし、八ヶ岳に暮らす人々と八ヶ岳を愛する人々の結びつきを強めるため、北杜市をはじめ地域団体との協力のもと、ポール・ラッシュ祭を開催します。

### 2. 地域連携業務

- (1) 八ヶ岳観光圏事業や清里観光振興会等との組織と連携し、歴史・文化・観光などの側面から地域連携業務に取り組みます。
- (2) そのほか地域活性化のために必要な働きに取り組みます。
- (3) 効率的な業務遂行のため、地域連携業務担当スタッフは各部現場に配属し、それぞれ協力しながら柔軟に業務にあたります。

## 公益Ⅴ．保育事業（清里聖ヨハネ保育園）

キリスト教の精神に基づき「一人ひとりを祝福する保育」を保育目標に掲げ、「森の保育園」のコンセプトのもと、地域の資源である豊かな自然環境を積極的に活かした保育活動に取り組みます。また、キープ協会の公益事業の中でも、コミュニティセンターとして、地域における教育や子育てに関わる事業に積極的に取り組みます。

### 1. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続

従来の保育方針を継続し、森の保育活動の実践を充実させ、特に今年度は森の保育のカリキュラム作りに取り組みます。また、異年齢児グループと年齢別グループの、それぞれの良さを組み合わせた活動や生活を展開します。

### 2. 自然のリズムを大切にした食事（給食）の推進

自然のリズムに配慮した生産活動への理解や、旬の食材利用、生産者の方々とのつながりを大切に、食事（給食）や食育に取り組みます。また、引き続き、アレルギー対応食の提供や、「食」の体験活動にも積極的に取り組みます。

### 3. 保育の質の向上

今年度は、特に、「キリスト教保育」「森の保育」「野外活動におけるリスクマネジメント」の3点について、質の向上を目指します。引き続き、チームとしての向上のため、スタッフ全員参加の園内研修を年4回実施し、個々のスキルアップのため、外部研修への参加を進めます。

### 4. 園舎内及び周辺環境整備

保育園での暮らしをより充実させるため、新園舎内及び周辺環境整備を長期的ビジョンの下計画的に進めます。特に、ポール・スミザー氏と連携し、「森庭」の整備を重点的に進めます。

### 5. 保護者や地域の方々との協働

引き続き、「森の楽童」「大屋根マルシェ」「文庫活動」等の活動を、保護者や地域の方々と共に創り実践を重ねます。

### 6. 卒園児のバックアップ

保護者主催の「卒園児キャンプ」への協力を積極的に行います。

### 7. 自然学校及び環境教育事業部との協働

引き続き、「森の楽童」において、レンジャーとの協働を進め、発展させます。また、自然学校とは、フィールドの使用や整備での協働にも取り組みます。

### 8. 視察・研修の受け入れ

自然学校や清泉寮と連携して、各保育団体や各学校の視察や研修の受け入れに取り組みます。

## 収益 I . 製販事業

製販事業部は、キープ協会が行う公益事業の経済的基盤を支えるため、中長期計画 KEEP for the future に則った様々な収益事業により、収益の確保を図ります。

また、「いちばん美しい農場 (MBF : Most Beautiful Farm)」プロジェクトを推進し、酪農事業部との連携による「生産・収穫—加工・製造—販売・消費」一貫体制の早期実現を目指します。

### 1. 2016 年度重点業務

#### (1) 清泉寮・新ジャージーハット建築計画の推進

- ① 現在のジャージーハットを取り壊し、新たにパン・ジャム工房・物品販売・ソフトクリーム販売・カフェ営業等の機能と、新規にお客様用のトイレを増設し、清泉寮への立ち寄り客の主要拠点として、一体化したサービスを提供する新施設の実現に向けて建築事業を推進します。

#### (2) キープ内客単価を向上させるためのお客様の滞在時間延長化

- ① 店舗間連携による複数店舗の利用促進
- ② 居心地の良い環境・空間の整備
- ③ 購買意欲を増加させる運営および接客

#### (3) お客様から共感を得るための職員教育

- ① キープの一員としての意識向上
- ② 接客・サービス研修
- ③ あらゆる商品知識の習得
- ④ 取り巻く環境の変化に対応できる体制作り

#### (4) キープの魅力の情報発信による集客

- ① インターネットを利用した情報発信
- ② 店頭サインによる情報発信
- ③ 各種メディアを利用した情報発信

### 2. 通常業務

- (1) 店舗運営 (清泉寮ギフトショップ・清泉寮ジャージーハット・清泉寮セレクトショップ・清泉寮パン工房・キープファームショップ、清泉寮新館売店、並びにラザウオーク双葉 SC 店)

- (2) 通信販売およびネット販売
- (3) 清泉寮ソフトクリームおよびジャージー乳製品の出張販売
- (4) 地域生産品およびフェアトレード製品などの公益性のある製品の積極的な利用と販売
- (5) 飲食業においては「人と地球の健康」をキーワードとしたメニュー展開
- (6) 集客を図る効果的な宣伝広報
- (7) ホームページを利用した情報発信
- (8) 店舗周辺環境美化およびガーデン管理
- (9) 購買の一元化による効率的な仕入・在庫管理
- (10) 業務の効率化によるコスト削減
- (11) 外注に頼らないことによるコスト削減
- (12) 各店舗間における職員・スタッフの柔軟なシフトによる人事の効率化

## 収益Ⅱ．ホテル事業

### 1. 清泉寮

研修宿泊施設としての役割を果たすと共に、一般のお客様の宿泊や食事、パーティーやブライダルなどの受け入れについても積極的に行います。

- (1) 予約 AGT や、宿泊や食事のプランの見直しと検討を進め、さらなる稼働の向上を図ります。また、清泉寮らしいパーティーやレノックス礼拝堂を生かしたブライダルの獲得も進めます。
- (2) 地産地消を重視した手作りの食事や、スタッフによる手作り感のあるプログラムの提供、抜群の景観と豊かな自然環境など、施設の特徴を生かした集客を図ります。
- (3) 清泉寮利用者の拡大や、インターネットや SNS を活かした効果的な情報発信を継続することで、清泉寮はもとより、財団の他施設や商品・サービスの利用促進や財団の理念の周知による支援者の獲得に繋がります。

## 本部（管理部門）

公益財団法人の管理部門として、総務・経理・施設・企画の各部を置きます。

### 1. 企画関連業務

- (1) KEEP for the Future（キープ新5カ年中長期計画）進捗管理業務
- (2) 組織及び運営の改善、合理化の研究・提言
- (3) 内外一般情勢のマーケティング
- (4) 新規事業・特命事項に関する調査・運営計画の策定

### 2. 広報関連業務

- (1) 効果的な広報・宣伝広告戦略の構築
- (2) 広報・メディア対応などに関する業務
- (3) ホームページ管理・Facebook などに関する業務
- (4) パンフレット・印刷物などの作成・発信に関する業務
- (5) インバウンド促進に関する業務
- (6) 地域との連携による販売促進

### 3. 職員教育訓練業務

- (1) ES（従業員満足）・CS（顧客満足）を高めるための教育訓練の実施
- (2) キープ協会の設立運営理念や歴史的経緯の理解のための研修の実施

### 4. 募金の管理業務

- (1) 募金委員会の事務局業務
- (2) Friends of KEEP 会員組織活動
  - ① 会員獲得活動
  - ② 会報清泉寮だよりの作成と発信
  - ③ メールマガジンの作成と発信
- (3) 顧客名簿の管理等に関する業務